

実行委員会で出た主な意見

●制作映画について

<見てほしい人・年代>

- ・子どもたちが見てくれると、親・祖父母世代も見てくれる。
- ・ファミリー層をターゲットにできると良い。
- ・若い世代に興味を持ってもらいたい。

<映画に入りたい手稲の風景・スポット>

手稲のやまなみ、手稲山のアンテナ(鉄塔)、グリーンシーズン、四季(桜、緑、紅葉、雪)の風景、前田森林公園や公園から見える手稲山の風景、豊かな自然、ていね、区内の個性的な店舗

<映画に入りたいシーン>

- ・孫と夏に川で遊ぶ(川に鮭がのぼる話をする)、冬にスキーで遊ぶ。
- ・手稲区で映画を作るエピソードをそのまま映画に。
- ・昔あった区内のイベントなど懐かしさを感じられる要素を取り入れる。

- ・手稲のグルメを起点とした日常(例:前田の地ビールなど)。
- ・手稲区民の人柄の良さ(例:手稲区の高校生はバスを降りる際に運転手に挨拶をしている。⇒その子たちに「自分は良いことをしている」と感じてもらえるようなストーリー⇒若い世代に「手稲区に残りたい」と思ってもらいたい。)
- ・手稲の昔から今への変遷、街の発展

●その他のアイディア

- ・ていねが商店街やこども向けイベントを紹介する動画
- ・タイムスリップ系、現実から過去に戻るエピソードの動画
- ・子どもが主人公。「親子喧嘩から始まり、家出途中にていねに出会い、冒険する」⇒手稲の良さに気づき、成長し家に戻り仲直りするような動画
- ・区内の児童会館等で上映会を行い、映画鑑賞を通じて手稲の魅力を知ってもらうとともに、映画祭についても知ってもらう。

制作映画の方向性

ターゲット

若者やファミリー層

世代を超えて共感し、家族で手稲の魅力を楽しめる映画

風景・スポット

▶自然とシンボル

- ・区内の様々な場所から見える手稲の山並み、山頂のアンテナ
- ・手稲の四季(桜、緑、紅葉、雪)の魅力

▶地域に根差した憩いの場

- ・前田森林公園などの公園
- ・個性豊かな店舗

エピソード・シーン

▶地元グルメと人々の日常

- ・区内のグルメを巡る住民の日常や交流

▶自然の中での多世代交流

- ・孫と手稲の豊かな自然の中で遊ぶ姿

▶人柄の良さ

- ・区民の優しさ温かさを象徴し誇りに思える場面